

湯ノ丸山&烏帽子岳山行報告

【山行日】2023年 6月 25(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 6:00

【費 用】マイカー2台 : 3,300円

【メンバー】 CL:鈴木、 SL:藤原ト

青柳、飯野、伊藤、植竹、大塚、嶋田、関、
鈴木ミ、福島、藤原フ

【コースタイム】岩舟支所P6:00＝地蔵峠 7:55/8:15

～リフト上ベンチ 8:35/8:40～ツツジ平 8:45～

鐘分岐 9:00～湯ノ丸山 9:45～北峰 10:00～

湯ノ丸山 10:10/10:20～鞍部 10:45～烏帽子岳稜線

11:15/11:25～烏帽子岳 11:50/12:20～鞍部 13:00/13:10～地蔵峠P13:50/14:00＝

道の駅「雷電くるみの里」14:30/14:50＝岩舟支所P17:10

山行アンケートで湯ノ丸山のリクエストがあり、レンゲツツジが咲くこの時季に併せて計画した。



車2台に分乗し岩舟支所を6時に出発し、北関東道から上信越道を走り地蔵峠に向かった。今年は花の時季が2週間くらい早く、レンゲツツジの見頃が過ぎてないか心配しながら走り地蔵峠に着く。駐車場に着いて驚いた。広い駐車場は車で埋まり、空きスペースを探してようやく止められた。

この時季に何回も来ているが、これほど車が多いのは初めてで、レンゲツツジの花が凄いのではと期待が膨らむ。出発の準備を整え、トイレとストレッチを済ませたら出発する。駐車場

場から道路を横切り、スキー場のゲレンデの中を登って行く。いきなり急な登山道を登り、息が切れ

るが一步一步ゆっくりと登って行く。傾斜が緩くなるとリフト終点に出て、ベンチで休憩し衣服調整と水分補給を行う。少し先にツツジ群生地があり、ここからツツジ平と言われるレンゲツツジの群生地で、国の天然記念物に指定されている。レンゲツツジの花も丁度見頃で花付も良く、赤やオレンジ色の花の間を歩いて行く。時折牛のフンが落ちており、皆さん踏まないようにキャーキャー声を上げ楽しそうに歩いていた。ツツジ平を抜けて登山道に出て、風見鶏が付いた鐘の先から湯の丸山への急登が始まる。少し登ると展望が開け、振り返ると浅間山が大きく見える。岩がゴロゴロした急坂を登り、傾斜が緩くなって笹原を歩くようになると湯の丸山山頂に着く。



山頂標識前で記念写真を撮ったら大きな岩にザックをデポし、身軽になって北峰へと向かう。北峰



への稜線はイワカガミやハクサンチドリ等の花が咲き、浅間山や烏帽子岳を眺めながら爽快に歩ける。岩場の狭い山頂だが三角点が置かれ、360度の大展望が広がっている。南峰まで戻って休憩し、トマトや菓子を食べてエネルギーを補給する。ここから烏帽子岳には西側へ下り、鞍部まで下ると地藏峠からの道と合流する。

直進して登ると左に大きく巻くように進み、ジグザグと高度を上げて行く。このあたりから花が沢山見られ、ゲンナイフウロやベニバナイチヤクソウ、ス

ズラン等々が目を楽しませてくれる。花を楽しみながら登ると尾根上に出て、視界が開けて烏帽子

岳まで快適な尾根歩きが続く。尾根上も花々が彩りを添え、ハクサンチドリやコマクサ、タカネハンショウヅル等、花々や展望を楽しみながら登れる。岩場の急登を登った小さなピークは小烏帽子岳で、ここから少し下ってさらに岩場の急坂を登り切ると烏帽子岳山頂に着く。

烏帽子岳の山頂は湯の丸山のように広くは無いが、それだけに360度の大パノラマが得られ素晴らしい。山頂は登山者で賑わっており、記念写真を撮るのも順番待ち。記念写真を撮ったら西側の斜面に陣取り、お湯を沸かして昼食をいただく。いつものように持ち寄ったお惣菜が皿



に盛って配られ、カップ麺やおにぎりと一緒にいただく。大パノラマを見ながらのランチは美味しく、お皿に盛られたお惣菜も完食した。展望とランチを楽しんだら下山開始し、鞍部までは往路を戻り下って行く。下りは皆さん余裕が出て、登山道に咲く花々を愛でながらスマホに収めていた。タカネハンショウヅルやベニバナイチヤクソウなど名前を確認しながら撮っていた。

鞍部で最後の休憩を取り、残りのおやつが次々に出され美味しくいただいた。ここから



は樹林帯の道を緩やかに下って行き、白窪湿原を抜けるとキャンプ場に出て、舗装道路を道なりに下ると駐車場に着く。靴を履き替え、トイレを済ませたら帰路につく。途中、道の駅「雷電くるみの里」に寄り、ソフトクリームを食べたりお土産の買い物し岩舟支所に向かう。上信越道で多少の渋滞に遭ったが大したことは無く、予定通り岩舟支所に到着した。